

衛 生 学

1 構 成 員

| | 平成17年3月31日現在 |
|----------------|--------------|
| 教授 | 1人 |
| 助教授 | 0人 |
| 講師（うち病院籍） | 0人（0人） |
| 助手（うち病院籍） | 0人（0人） |
| 医員 | 0人 |
| 研修医 | 0人 |
| 特別研究員 | 0人 |
| 大学院学生（うち他講座から） | 1人（0人） |
| 研究生 | 0人 |
| 外国人客員研究員 | 0人 |
| 技術職員（教務職員を含む） | 0人 |
| その他（技術補佐員等） | 1人 |
| 合 計 | 3人 |

2 教官の異動状況

青木 伸雄（教授）（H元. 11. 1～現職）

中村美詠子（助手）（H3. 4. 1～H16. 11. 30）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

| | 平成16年度 |
|---------------------|--------|
| (1) 原著論文数（うち邦文のもの） | 2編（1編） |
| そのインパクトファクターの合計 | 3.29 |
| (2) 論文形式のプロシーディングズ数 | 0編 |
| (3) 総説数（うち邦文のもの） | 0編（0編） |
| そのインパクトファクターの合計 | 0 |
| (4) 著書数（うち邦文のもの） | 0編（0編） |
| (5) 症例報告数（うち邦文のもの） | 0編（0編） |
| そのインパクトファクターの合計 | 0 |

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Asia Pacific Cohort Studies Collaboration : Body mass index and cardiovascular disease in the Asia-Pacific region : an overview of 33 cohorts involving 310,000 participants. Int J Epidemiol 33 : 751-758, 2004.

2. 川島慶之, 井原一成, 中村美詠子, 福田 論, 中島 務, 喜多村健: 流行性耳下腺炎 (ムンプス) と難聴 小児内科 37: 63-66, 2005.

インパクトファクターの小計 [3.29]

4 特許等の出願状況

| | 平成16年度 |
|---------------|--------|
| 特許取得数 (出願中含む) | 0件 |

5 医学研究費取得状況

| | 平成16年度 |
|---------------------|------------|
| (1) 文部科学省科学研究費 | 2件 (120万円) |
| (2) 厚生科学研究費 | 0件 (0万円) |
| (3) 他政府機関による研究助成 | 0件 (0万円) |
| (4) 財団助成金 | 1件 (150万円) |
| (5) 受託研究または共同研究 | 0件 (0万円) |
| (6) 奨学寄附金その他 (民間より) | 0件 (0万円) |

(1) 文部科学省科学研究費

青木伸雄 (代表者) 基盤研究 (C) 地域住民を対象とした緑茶飲用の高脂血症改善効果に関する研究 50万円 (継続)

中村美詠子 (代表者) 基盤研究 (C) 抗酸化物質と炎症反応指標・動脈硬化指標との関連: ベースライン調査 70万円 (継続)

(4) 財団助成金

中村美詠子 (代表者) 公益信託日本動脈硬化予防研究基金研究助成 高脂血症予防に関する複合介入試験 150万円 (新規)

7 学会活動

| | 国際学会 | 国内学会 |
|-----------------|------|------|
| (1) 特別講演・招待講演回数 | 0件 | 0件 |
| (2) シンポジウム発表数 | 0件 | 0件 |
| (3) 学会座長回数 | 0件 | 0件 |
| (4) 学会開催回数 | 0件 | 0件 |
| (5) 学会役員等回数 | 0件 | 12件 |
| (6) 一般演題発表数 | 0件 | |

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

青木 伸雄 日本循環器管理研究協議会監事

青木 伸雄 日本公衆衛生学会評議員, 編集委員

青木 伸雄 日本衛生学会評議員

青木 伸雄 日本疫学会評議員
 青木 伸雄 日本栄養改善学会評議員
 青木 伸雄 東海公衆衛生学会理事
 中村美詠子 日本疫学会評議員
 中村美詠子 日本栄養改善学会評議員
 中村美詠子 日本循環器管理研究協議会評議員
 中村美詠子 日本未病システム学会評議員
 中村美詠子 東海公衆衛生学会評議員
 中村美詠子 日本公衆衛生学会査読委員

8 学術雑誌の編集への貢献

| | 国内 | 外国 |
|-------------------|----|----|
| 学術雑誌編集数（レフリー数は除く） | 1件 | 0件 |

(1) 国内の英文雑誌の編集

中村美詠子 Journal of Epidemiology（日本疫学会），Editorial Board，PubMed/Medline（登録有），インパクトファクター（Thomson ISI登録済み）

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

Environmental Health and Preventive Medicine（日本）

9 共同研究の実施状況

| | 平成16年度 |
|------------|--------|
| (1) 国際共同研究 | 1件 |
| (2) 国内共同研究 | 4件 |
| (3) 学内共同研究 | 1件 |

(1) 国際共同研究

1) Asia Pacific Cohort Studies Collaboration：University of Auckland, Clinical Trials Research Unit (New Zealand) 等。平成16年度はプロジェクト・チーム（肥満の糖尿病発症リスクを定量化）の一員として参加（中村美詠子）。研究成果は前述。

(2) 国内共同研究

三ヶ日町研究：抗酸化栄養素であるカロテノイドの健康影響を明らかにすることを主な目的とした疫学研究。平成15年度に開始し，現在追跡継続中。共同研究者：独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所杉浦実。研究成果：①Sugiura M, Nakamura M, et al. High serum b-carotene and β -cryptoxanthin are inversely associated with serum gamma-glutamyltransferase in alcohol drinkers within normal liver function. Journal of Epidemiology 2005 (in press). ②Sugiura M, Nakamura M, et al. Serum carotenoid concentrations are inversely associated with serum aminotransferases in hyperglycemic. Diabetes Research and Clinical Practice 2005 (in press). ③Nakamura M, Sugiura M, Aoki N. High β -carotene and β -

cryptoxanthin are associated with low pulse wave velocity. Atherosclerosis 2005 (in press).
研究費（文部科学省科学研究費等）

緑茶ポリフェノールに関する無作為化比較対照試験（RCT）：緑茶ポリフェノールが血清脂質に及ぼす影響を明らかにすることを目的としたRCT。平成16年度より、現在対象者を募集し、データ収集を継続中。共同研究者：愛知厚生連渥美病院健康管理センター中神未季等。研究費（文部科学省科学研究費，日本動脈硬化予防研究基金研究助成）

静岡県版食品摂取頻度調査票の開発に関する研究：静岡県の委託を受けて静岡県総合健康センターにより実施された研究。平成16年度は研究検討会座長（中村美詠子）として参加。共同研究者：静岡県総合健康センター赤堀摩弥。研究成果：静岡県版食品摂取頻度調査票マニュアル（静岡県総合健康センター）。第63回日本公衆衛生学会発表。

静岡県における小中高校生の身体・生活状況に関する研究：静岡県の分析委託を受けて実施した研究。共同研究者：静岡県健康福祉部（現浜松大学健康プロデュース学部）近藤今子等。研究成果：第63回日本公衆衛生学会発表。

(3) 学内共同研究

突発性難聴に関する症例対照研究：突発性難聴と循環器疾患リスクファクター（高血圧，高脂血症，糖尿病及び生活習慣等）との関連に明らかにすることを目的とした症例対照研究。共同研究者：浜松医科大学耳鼻咽喉科学岩崎聡。研究成果：論文準備中。

10 産学共同研究

| | |
|--------|--------|
| | 平成16年度 |
| 産学共同研究 | 0件 |